

**Close**  
クローズアップ  
**Up!**

**DRC、キーマネジメントボックスによる  
サイクルシェアリングシステムを提案**

# 「KeyKey (キーキー)」に注目!



DRC(本社・東京都港区、瀧口貴人社長)は、このほどカギの受け渡しを完全セルフ化できるキーマネジメントボックス「KeyKey(キーキー)」を開発した。同社ではマンション、観光地などのサイクルシェアリングシステムとして提案していく構えだ。カーシェアリングで確かな実績を持つDRCの新たな仕掛け、新システムが注目される。



「KeyKey(キーキー)」は24時間、スマホなどのネットでカギの受け渡しを完全セルフ化できるキーマネジメントボックスシステムだ

## 製品開発力で勝負するDRC モットーは「カンタン! をもっと身近に」

DRC といえば、キー管理ボックスシステム、カーシェアリングシステム、シェアオフィスなどのシェアリング向け製品の開発・製造・販売などで知られている。

「カンタン! をもっと身近に」をモットーとする同社の商品開発力は定評のあるところだが、2018年11月にダイサン(本社・

トップメーカー)のグループ会社に加わり、経営基盤を強化してさらなる業容拡大を目指してきた。そうした中で新たに開発されたのがキーマネジメントボックスの「KeyKey(キーキー)」だ。

この「KeyKey」は24時間、カギの受け渡しを完全セルフ化できるキーマネジメントボックスで、マンション、観光地のシェア

大阪市中央  
区。クサビ  
式足場の

リングシステムに最適な新商品だ。

「人を介してカギを受け渡しするのは煩雑。カギの受け渡しが自動でできれば便利になる」という発想が起点となり、「マンションのクローズドエリアや共同で使用する物置などのカギを管理して、モノをシェアリングできれば利便性が高まるはずだ」といった考えに基づいて開発されたのが、「KeyKey」だ。

「KeyKey」の特長は次のとおり。



DRCのサイクルシェアリングシステムは東京・福生市で採用されている



①予約、決済、受け渡しまでの作業をすべてセルフ化し、PCやスマホなどのネットでどこからでも予約・決済が可能(無人でカギなどの貸し出しができる)。  
②ネットでどこからでも遠隔管理が可能なので業務効率が向上する。  
③認証はスマホやカードでOK。  
④ネット工事が不要でコンセントに挿すだけで簡単設置できる。

同システムはすでにレンタカー会社に提供されているが、「KeyKey」は人手不足、働き方改革による早朝・深夜などの時間外労働の回避、新型コロナウイルス感染防止のための非対面対応化などでメリットを発揮しており、好評だ。

DRCのキーマネジメントシステムは、サイクルシェアリングでもすでに活用されている。同システムを採用しているのは

東京都福生市で、同市はサイクルシェアリングによる自転車の貸出を実施中だ。

### マンション、観光地のサイクルシェアリングに最適な「KeyKey(キーキー)」

### ネットで24時間、カギとバッテリーの貸し出しが可能！

DRCが新たに開発した「KeyKey」は、電動アシスト自転車を採用したサイクルシェアリングに最適なシステムだ。24時間、カギと充電されたバッテリーの貸し出しができるということになればサイクルシェアリングの利用頻度が上がるはずだ。

瀧口社長は「KeyKeyシステムはマンションなどで展開するサイクルシェアリング、自転車

の共同利用などに最適ですが、観光地などのレンタサイクルシステムにもピッタリです。KeyKeyがまちの活性化のお役に立てばうれしいです」と語っている。

DRCでは現在、「KeyKey」の発売記念キャンペーンを実施中。10社限定で6ヵ月間無料の本体レンタルサービスを行っている。

DRCは来年5月19・20日開催の「BICYCLE CITY EXPO 2021」に出展し、「KeyKey」を展示・提案する。反響が注目されるところだ。

なお、DRCではひとつのカギを管理できる1BOX型の「KeyKey One(キーキーワン)」(仮称)を開発中だ。